

下越地区研究集会

1 地区研究集会の概要

- (1) 期 日 平成25年10月3日(木)
- (2) 会 場 村上市教育情報センター
- (2) 会 場 村上市生涯学習推進センター
- (3) 日 程

13:00	13:30	14:15	14:30	16:10	16:15
受付	開会式	移動	分科会	閉会式	

2 大会開催に向けて

本研究集会については、村上市小学校長会が主管し、胎内市小学校長会の協力をいただきながら、準備・当日開催に当たった。

総務部、運営・会場部、研修部、要項・記録部、案内・送迎部の5部会に分かれ、準備を進めた。新築された村上市生涯学習推進センターも活用し、充実した運営を行うことができた。

開催に当たり、平成27年度に新潟市で開催される「関東甲信越地区小学校長研究協議会新潟大会（関プロ新潟大会）」も視野に入れて分科会を構成した。実際には、10部会22分科会を設定し、実のある分科会協議となるよう、次の3点を工夫した。

- (1) 大会主題の趣旨に基づく各自の実践を持ち寄り、校長としての学校経営の視点を明確にした内容となるようにした。
- (2) 事前に分科会世話人が司会者と打合せを行い、分科会の協議が深まるようにした。
- (3) 分科会では、それぞれの協議内容を絞って焦点付けるようにした。

3 研究集会の概要

(1) 開会式

来賓として、下越教育事務所長 後藤一雄様、新潟市教育委員会教職員課副参事 有本秀雄様、村上市副市長 鈴木源左衛門様、村上市教育委員会教育長 圓山文堯様、関川村教育委員会教育長 野沢専治様、粟島浦村教育委員会教育長

職務代理者 本保敦子様、県中学校長会常任理事 佐藤修一様からご臨席いただいた。

森正司県小学校長会副会長は、開会式のあいさつの中で、「平成27年6月に開催される関プロ新潟大会を成功裏に導くために、本日の協議を校長一人一人が、創意と活力に満ちた特色ある学校の創造に向け、組織的かつ計画的な実践を積み重ねていくことを期待する」と語った。また、遠藤友春大会実行委員長は、「新大会主題『未来を生き抜く知を磨き 絆を強め 学び続ける子どもを育てる学校経営』を掲げ、校長を主語にしたレポートを基に、新しい時代を生き抜く子どもたちを育てるための学校経営の在り方を語り合い、今後の学校経営に繋がる意義のある研究集会にしよう」と力強く挨拶し、下越地区研究集会村上大会が開会した。

全体会での大会主題説明で金内敬太郎県小学校長会研修部副部長は、「実践について具体的に協議を深め、協議の成果を各校の更なる実践に繋げてほしい」と述べた。

(2) 部会協議

前述の3点の工夫を生かし、課題解決に向けた話し合いが活発に行われるように複数の協議内容を示し、協議の視点を明確にした。

どの分科会でも、校長を主語として、何をどのように取り組んだか、具体的な実践について協議がなされた。各校が抱える課題や情報の共有等、会員一人一人が今後の学校経営に大きな刺激を受ける協議となった。